

© International Baccalaureate Organization 2022

All rights reserved. No part of this product may be reproduced in any form or by any electronic or mechanical means, including information storage and retrieval systems, without the prior written permission from the IB. Additionally, the license tied with this product prohibits use of any selected files or extracts from this product. Use by third parties, including but not limited to publishers, private teachers, tutoring or study services, preparatory schools, vendors operating curriculum mapping services or teacher resource digital platforms and app developers, whether fee-covered or not, is prohibited and is a criminal offense.

More information on how to request written permission in the form of a license can be obtained from <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.

© Organisation du Baccalauréat International 2022

Tous droits réservés. Aucune partie de ce produit ne peut être reproduite sous quelque forme ni par quelque moyen que ce soit, électronique ou mécanique, y compris des systèmes de stockage et de récupération d'informations, sans l'autorisation écrite préalable de l'IB. De plus, la licence associée à ce produit interdit toute utilisation de tout fichier ou extrait sélectionné dans ce produit. L'utilisation par des tiers, y compris, sans toutefois s'y limiter, des éditeurs, des professeurs particuliers, des services de tutorat ou d'aide aux études, des établissements de préparation à l'enseignement supérieur, des fournisseurs de services de planification des programmes d'études, des gestionnaires de plateformes pédagogiques en ligne, et des développeurs d'applications, moyennant paiement ou non, est interdite et constitue une infraction pénale.

Pour plus d'informations sur la procédure à suivre pour obtenir une autorisation écrite sous la forme d'une licence, rendez-vous à l'adresse <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.

© Organización del Bachillerato Internacional, 2022

Todos los derechos reservados. No se podrá reproducir ninguna parte de este producto de ninguna forma ni por ningún medio electrónico o mecánico, incluidos los sistemas de almacenamiento y recuperación de información, sin la previa autorización por escrito del IB. Además, la licencia vinculada a este producto prohíbe el uso de todo archivo o fragmento seleccionado de este producto. El uso por parte de terceros —lo que incluye, a título enunciativo, editoriales, profesores particulares, servicios de apoyo académico o ayuda para el estudio, colegios preparatorios, desarrolladores de aplicaciones y entidades que presten servicios de planificación curricular u ofrezcan recursos para docentes mediante plataformas digitales—, ya sea incluido en tasas o no, está prohibido y constituye un delito.

En este enlace encontrará más información sobre cómo solicitar una autorización por escrito en forma de licencia: <https://ibo.org/become-an-ib-school/ib-publishing/licensing/applying-for-a-license/>.

Japanese B – Higher level – Paper 2 – Reading comprehension
Japonais B – Niveau supérieur – Épreuve 2 – Compréhension écrite
Japonés B – Nivel Superior – Prueba 2 – Comprensión de lectura

Tuesday 25 October 2022 (afternoon)

Mardi 25 octobre 2022 (après-midi)

Martes 25 de octubre de 2022 (tarde)

1 h

Text booklet – Instructions to candidates

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet accompanies paper 2 reading comprehension.

Livret de textes – Instructions destinées aux candidats

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret accompagne la partie de l'épreuve 2 portant sur la compréhension écrite.

Cuadernillo de textos – Instrucciones para los alumnos

- No abra este cuadernillo hasta que se lo autoricen.
- Este cuadernillo acompaña a la parte de comprensión de lectura de la prueba 2.

問題 A

店と客を調べてメニュー開発



不要な画像を削除

- 1** ラムラ社は、東京などでレストランを開いている会社です。今、ある産業大学と
いっしょにビジネスの進めかたを考えています。いろいろなアイデアをためして
いますが、今年は大学生たちが焼き肉店の新しいメニューを開発しました。それが
10月の中旬からレストランで出されることになりました。大学生たちは「お客さん
たちに食べて、よろこんでもらいたい。」と期待しています。
- 2** 大学生たちはみんな、経済やマーケティングを勉強しています。去年の大学生は、
ラムラ社のカフェのメニューを考えました。今年は、大学3年生46人が8つの
チームに分かれてラムラ社の焼き肉店を新しくする方法を考えました。大学生たちは
「焼き肉と考えると、焼き肉定食しかアイデアがなかったので、最初はとても困った。
自分たちの考えを広げるのが難しい課題だった。」と話しています。
- 3** 大学生たちはまず、ラムラ社の自由が丘のおかのレストランに行ってみました。そして、
ここには、どんな人がいつ、何人ぐらい来るか調べました。また、レストランで
食べているお客さんに実際にインタビューをしてみました。その結果、このレスト
ランの課題が見えてきました。これを解決するために、大学生たちはどんな料理が
売れるだろうかと考え、新しいメニューを作りました。

- 4 8月8日には、ラムラ社の人にも大学に来てもらって、大学生たちが新しいアイデアやメニューを発表しました。一つのチームは、自由が丘^{おか}のレストランには学生があまり来ないことに気づきました。レストランのイメージがちょっと高級^{こうきゅう}で、高そうだからです。そこで、女子学生をターゲットに、「玉手箱^{たまてばこ}」という料理を作りました。箱^{はこ}の中の肉は花のようにきれいに見えますが、そのほかに野菜^{やさい}もたくさん入れました。ほかのグループは50代の女性をターゲットにして、ワインつきのセットを考えました。家族といっしょに来て、料理をつまみながら、会話がはずむ様子をイメージしました。
- 5 9月にはレストランで試食会がおこなわれました。プロの料理人が作った美しい料理を見て、大学生は感動していました。「お客さんからどんな反応があるか、楽しみ半分で不安半分です。」と言いました。大学の先生も、「学生にとって貴重な^{きちょう}体験になりました。今後もぜひ続けたいです。」と話していました。

問題 B

「ていねいに くらす」を畳たたみから

(Image: 中才知弥 (Cheer Nakasai))

家のスタイルが変わり、洋室の部屋が増え、畳たたみの生産量りょうも年々減ってきています。しかし、こんな状況じょうきょうでもがんばっている人がいます。前田畳店の社長、前田敏康としやすさんに話を聞きました。

いつ、どうやって、この仕事を始めましたか。

- 5 はい、私が父の畳店たたみをついだのは、大学を卒業して銀行に3年勤めた後のことです。また、モノづくりは小さいころから好きでしたし、だんだんと家業きょうみに興味を持つようになりました。

[- 16 -]

- 10 父に「きびしい商売だぞ」と何度も言われましたが、なんとかなると思いました。あまかったですね。いろいろな場所に営業に行きましたが、畳たたみは全く売れなくて、半年後にやっと畳たたみ4枚まいの注文を、ある飲食店のオーナーからもらいました。うれしかったです。ていねいに仕上げしつぱいて2か月後、とどけに行ったら、その店はなくなっていました。落ちこみましたが、その失敗しつぱいがあるから今があると思っています。

[- 17 -]

- 15 うちのコンセプトは「『ていねいに くらす』を畳たたみから」です。「ていねい」は手をぬかないという意味ですが、私にとっては、お客様の生活を考えながら仕事をすることです。毎日の生活でも、お客様がどこで、どんな目的で畳たたみを利用するか考えています。

[- 18 -]

- 20 2011年に地震じしんが起きたので、次の年に被災地ひさいちに畳たたみをとどけるプロジェクトを立ち上げました。避難所ひなんじょの体育館ゆかの冷たい床ゆかに、多くの人たが寝ているのをテレビテレビで見て、心が痛みました。畳たたみがあつたらいいんじゃないかと思って、まず自治体じちたいに相談さうだんしました。ただ、避難所ひなんじょの様子ようすを知らないまま、畳たたみを送りつけることはできません。送った畳たたみがじゃまにならないように、避難所ひなんじょに実際じつじに行つて、畳たたみが何枚まい必要ひつやうか確認かくにんしてから運び
- 25 ました。今は、日本全国にっぽんぜんこくの約500店の畳店たたみがこのプロジェクトに参加さんかしています。

前田さんの「ていねいに くらす」思いが とどくといいですね。

問題 C

15 「そうだ、これを弟に見せてやろう。そして、りこうな蜂が、どうして巣を作り、また子どもを育てるのに苦心するかを教えてやろう。そうすれば弟は、ここに巣のあることを知っても、けつして落とすことはあるまい。」

と、考えたのでした。(中略)

「勇ちゃん、蜂の巣があつてよ。」

彼女は、弟の顔を見ました。

「ああ、知っている。」

「え、知っているの?」

弟が、どうして、それを落とさなかつたろうと疑われました。

「姉さん、ツツジの木だろう?お母さん蜂がひとりで巣を作っているのだよ。」

「ええ、そうなの。」

25 「このあいだから見ると、だいぶ大きくなった。あの穴の中に子どもがいるんだね。暑いときは、水盤の水をふくんでいって、巣の上を冷やしているよ。」

「まあ!」

そんなくわしいことまで、いつ弟は観察していたのだらうとびっくりしました。

ある夏の日のこと

姉さんは、庭前のツツジのえだに、蜂の巣を見つけました。

「まあ、こんなところへ巣を作って、あぶないから落としてしまおうか。」と、ほうきを持った手をおさえて、ためらいましたが、

「さわらなければ、何もしないでしよう。」

せっかく作りかけた巣をこわすのもかわいそうだと考え直して、しばらく立ち止まって、一匹の親蜂が、わき見もせず、熱心に小さな口で、だんだんと大きくしようと、かためていくのをながめていました。そのうちに、蜂はどこへか飛び去りました。なにか材料を探しに行ったのでしよう。

〈中略〉

「勇ちゃんに、だまっていよう。」

10 見つけたら、きつと巣を取るであろうと思いました。〈中略〉

なんと並々ならぬ心遣いと、努力が、その巣にかたむけられていることか。たとえば、雨風にふかれても容易におれそうもない、じょうぶなえだが選ばれていました。〈中略〉
小さな蜂にどうして、こんな知恵があるかと不思議に思われたほどでした。

Disclaimer/Avertissement/Advertencia:

Content used in IB assessments is taken from authentic, third-party sources. The views expressed within them belong to their individual authors and/or publishers and do not necessarily reflect the views of the IB.

Le contenu utilisé dans les évaluations de l'IB est extrait de sources authentiques issues de tierces parties. Les avis qui y sont exprimés appartiennent à leurs auteurs et/ou éditeurs, et ne reflètent pas nécessairement ceux de l'IB.

Los contenidos usados en las evaluaciones del IB provienen de fuentes externas auténticas. Las opiniones expresadas en ellos pertenecen a sus autores y/o editores, y no reflejan necesariamente las del IB.

References/Références/Referencias:

- 問題A** 前田基行, 2019. 「店と客を分析 人気メニューを開発」 『朝日中高生新聞』 29 September p. 10. Source adapted.
- 問題B** (公財)国際文化フォーラム, 2019. 「『ていねいに暮らす』を豊から」
Image: 中才知弥 (Cheer Nakasai) [online] Available at: <https://www.tjf.or.jp/clicknippon/ja/mywayyourway/06/post-33.php> [Accessed 13 January 2022]. Source adapted.
- 問題C** 小川未明. 1977. 「ある夏の日のこと」 『定本小川未明童話全集 13』 Tokyo: 講談社. [online] Available at: https://www.aozora.gr.jp/cards/001475/files/51502_62003.html 入力：特定非営利活動法人はるかぜ、校正：酒井裕二 2017年6月19日作成青空文庫作成ファイル：このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。